

2010年代の世界の政治情勢についての用語に関する次の記述ア～エにはその説明として妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. アラブの春：北アフリカや西アジア地域の国々で本格化した民主化運動で、SNSの普及による情報の拡散により波及した。この運動によりリビアやエジプトでは政権交代が起こり、シリアでは政府と反政府勢力との間で内戦が起こった。
- イ. 一帯一路：中国が進めている外交政策である。主に環太平洋諸国との通商関係の強化を図る政策であり、中央アジアや西アジア、アフリカ諸国との通商関係の強化には消極的な姿勢をとっている。
- ウ. アメリカ第一主義：特朗普政権が掲げているスローガンである。このスローガンの下、特朗普政権は貿易について保護主義的な姿勢を強め、また、不法移民の退去を進める方針を示した。
- エ. ブレグジット（Brexit）：イギリスのEU離脱を示す用語である。イギリスのEU離脱の動きに連動し、2018年にはフランスやイタリアなどがEUからの離脱を表明した。

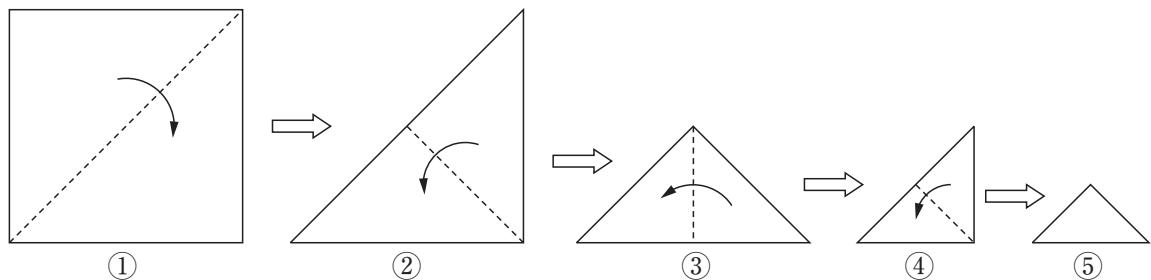
1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

前近代のイスラム世界に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. イスラム教は紀元前1000年頃に創始された一神教であり、後に成立したユダヤ教、キリスト教に影響を与えた。
2. イスラム教は、アラビア半島で興り、イスラム教徒による征服活動によってアラビア半島以外の西アジアや北アフリカに急速に広がっていった。
3. イスラム教とキリスト教の聖地の一つであるエルサレムは長らくイスラム勢力の支配下にあったが、イスラム勢力は、キリスト教徒の十字軍に最終的に敗れ、エルサレムを失った。
4. イスラム世界では、商業は蔑視されたためイスラム教徒が積極的に従事することなく、専らキリスト教徒など異教徒が従事した。
5. 学問について見ると、神学や法学は盛んに研究されたが、医学、数学、天文学などの研究は、イスラム教の教義から禁止されたため行われなかった。

正方形の紙を、図Ⅰのように①～⑤の順番に点線に沿って谷折りしていく。折り曲げた⑤の紙を、ある直線に沿ってはさみで切り、切り分けられた一方を広げたところ、図Ⅱのようになった。⑤においてはさみを入れた直線を破線で示したものはどれか。

図Ⅰ



図Ⅱ

